

9/8 これからもお元気で！ 第20回旭寿園ふれあい祭り

9月8日（日）開園から34年を迎える町特別養護老人ホーム旭寿園（森田秀幸園長）で「第20回旭寿園ふれあい祭り」が開催され、利用者のご家族など入園者合わせて約230名が祭りを楽しみました。

ふれあい祭りでは、うどんやたい焼きなどの屋台や吹ガールズの演奏などが行われ、和やかな雰囲気での催しとなり、また、この日は入園者の百寿と白寿、米寿のお祝いも行われ、横山町長からお祝いを手渡された利用者は笑顔を見せていました。



9/13 子どもたちに大人気 メロン収穫

9月13日（金）沼田小学校4年生の総合学習で毎年行われているメロンの収穫体験が行われました。6月に自分達で定植したメロンを一人ひとつずつ収穫し、各班みんなで話し合い一番気に入ったものを学校に持ち帰りました。メロン生産者の辻則行さん（更新）は「メロンは見た目が全て、ネットがきれいなもの、大きなもの、形が良いものがおいしいメロンだよ」と児童にアドバイスしていました。

学校に持ち帰ったあとは「農天気の家（藤村富士子代表）」のみなさんが児童にメロンの切り方や糖度計の使い方、メロンシャーベットのつくり方を指導していました。

児童は自ら定植し収穫したメロンを糖度計を使って甘さを計測したり、調理するなど貴重な経験を通してメロンを堪能していました。



9/13 子供たちの安全をまもる 通学路の安全点検

沼田町の子どもたちが安全に通学できるよう9月13日（金）沼田町通学路安全推進会議（委員長三浦剛教育課長）による通学路の安全点検が行われました。道路管理を担当する国土交通省北海道開発局、札幌建設管理部、深川警察署、自治振興協議会、小中学校の教頭、建設課、教育委員会のメンバーが実際に通学路を歩きながら、交通安全や防犯上の面等から注意するポイントなどについてチェックをし、情報の共有をしました。



9/10~13 トマトを通じて交流
夢都里路くらぶフェア 2019

生活クラブ生協連合会の会員による、夢都里路（ゆとりろ）くらぶのメンバーが9月10日（火）から13日（金）までの4日間、沼田町に滞在して加工用トマトの収穫や加工されたトマトピューレで自家製ケチャップを作る体験などを行いました。

参加者は収穫作業などを通じて、当町と業務提携しているコーミ株式会社のケチャップの原料がどのように収穫、加工されているかなどを生産者との交流を通じて感じ取っていました。



9/14 自然といっしょに生活
沼田町ストーンキャンプ

沼田町にある「石炭」「玄武岩」「化石」という3つの石をテーマにキャンプを行う「沼田町ストーンキャンプ」が、ほろしん温泉ほたる館周辺で9月14日（土）から16日（月・祝）の3日間行われました。これは、町が検討している「沼田町まるごと自然体験プロジェクト」の一環で、町内と札幌市などから13名が参加し化石発掘や玄武岩を使った石焼サウナなどを体験して、子どもたちから率直な感想を聞き取りました。



9/18 おいしい新そばを堪能
沼田雪中そば倶楽部がそばの振る舞い

沼田雪中そば倶楽部（川辺敏隆会長）のメンバー7名が9月18日（水）、町主催のまるごと元気運動教室の参加者にそばを振る舞いました。

この日は敬老の日も近かったことから、教室に参加している高齢者向けに行われたもので、参加者は見事なそば打ちの技術に目を奪われ、打ち終わった新そばの味を堪能しました。



9/19 将来の農業を学ぶ
深川東高校現地研修

農業を担う若者の育成確保に向けて、現地での研修により就農意欲を喚起しようと、深川東高校の生徒27名が、9月19日（木）農業法人ウイング（代表取締役鵜野範之）で現地研修を行いました。

鵜野社長は農家と農業法人の違いや一戸あたりの経営面積など、現状の農業についての話のほか、今後は無人トラクターなどが普通に使われる時代が来るなどと将来の農業について説明され、生徒たちは真剣な表情で説明を聞きながら将来の農業について思いを深めていました。



9 / 21 深い歴史について知る 21 ぷらぷらまち歩き 2019

9月21日（土）ほろしん温泉ほたる館周辺で、NPO法人炭鉱（やま）の記憶推進事業団が主催する今年1回目の「ぷらぷらまち歩き 2019」が、13名が参加し行われました。

参加者は本年5月に日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財のひとつ、クラウス15号蒸気機関車の前で記念撮影をし、旧留萌鉄道の跡やダムの下になった浅野地区の歴史などの詳しい説明を受け、大阪市から参加した60代男性は「こういう歴史を語り継いでいかなければならない。クラウス15号を初めて知ったが、歴史が深いね」と話されていました。



10 / 5 健康寿命を延ばす 5 介護講演会が開催されました

10月5日（土）暮らしの安心センターで、トータル介護アドバイザーの青山幸広先生を講師に介護講演会が行われました。

横山町長から「高齢化は進んでいきますが、いかにして健康寿命を延ばしていくかという事が大切です」と挨拶があり、その後青山先生が自身の経験を基にユーモアを交えて介護と地域福祉について話されました。



10 / 6 沼田町を歩く 6 明日萌・ほたるの里ウォーキング

10月6日（日）明日萌・ほたるの里ウォーキングが行われました。天候に恵まれた今回は、JR利用促進事業としてJR留萌本線を利用して参加された深川市などからの参加者に雪中米をプレゼントするという企画もあり、約180名の方が参加しました。

参加者は体力に合わせて8.5km、4.5km、2.5kmの3コースを歩き爽やかな汗を流しました。



10 / 6 秋を感じて 6 晴天の紅葉まつり

10月6日（日）ほろしん温泉ほたる館で「紅葉まつり」が開催されました。

会場ではジンギスカンやきのこ汁を味わえたほか、多くの屋台も並びました。また、ステージでは歌謡ショーや新米60kgなどが当たる大抽選会が開催され、会場にいた約250名の参加者は、美しい紅葉のなかで秋の味覚とイベントを楽しみました。



ぬまたで働く

しごと・未来応援プロジェクト事業

9月24日(火)から9月26日(木)の3日間、クラーク記念国際高校(深川市)の生徒17名が町内の事業所・施設でインターンシップを行いました。

町内の事業所で一人でも多くの若者に働いてもらうことを目的として昨年度から取り組んでおり、7月に同校で合同企業説明会を開催し今回6事業所・施設で17名の受け入れを実施しました。



また、10月3日(木)には、沼田中学校(米倉卓司校長)の2年生22名が12の事業所で職業体験を行いました。それぞれの職場で真剣に取り組む「生徒」と、丁寧にプロの現場を体験させようとする「事業所・施設」の方々の温かい対応に有意義な一日となりました。



受賞

北海道社会貢献賞を受賞

沼田町民生委員・児童委員を務めている橋本妙子氏(市内1東)と澤田美智雄氏(高穂2)が北海道社会貢献賞を受賞しました。

橋本氏は平成10年4月から、澤田氏は平成10年12月から民生委員・児童委員として長年にわたり地域福祉の向上に貢献頂いており、この度の受賞となりました。受賞したお二人は「これからも地域の人のために活動していきます」と話されていました。



寄附

ふるさと酒場「よいやさ」奨学金寄附

今年の3月29日(金)・30日(土)の2日間限定で開催された、JR留萌本線応援イベントふるさと酒場「よいやさ」の収益金7万円が奨学金貸付基金へ寄附されました。当日イベントに協力してくれた岡田里奈さん(緑ヶ丘)から町長へ寄附が渡され、町長は「奨学金事業で大切にに使わせていただきます。町の宝である留萌本線の応援をありがとうございます」と話されていました。

